

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2022年 5月 9日

事業所名 音楽療法センター コスモス・キッズ

		チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8				
	2	職員の配置数は適切である	8				
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8			・カーテンで仕切られているのでわかりやすい	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8			・消毒も隅々までされている ・セッション毎に消毒している、玄関トイレ等も掃除している	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8			・毎月ミーティングに参加し、意見交換している ・月一回定期ミーティングを実施している	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			・保護者の意向、直ぐに反映されている ・セッション後に保護者と話す機会を設けている	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8				
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	2		コロナ禍により難しい	今後は、吹田市の機関支援を利用ていきたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8			・研修の案内も時々してくれる	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8			・かなり細かくアセスメントしている	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8				
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8				
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8				
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8				
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8			・随時案を考えながら行っている	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	8			・必要に応じてグループ参加も呼びかけている	

		チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8			・前回の活動記録を見てから活動に取り組んでいる	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8			・当日中の振り返りや共有が難しい日もあるが後日行うようにしている	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			・活動後その日に記録するようにしている	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8				
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		1		職員全体に周知していきたい。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7		1		職員全体に周知していきたい。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6		2	・サービス担当者会議で連携している	職員全体に周知していきたい。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6		2	・サービス担当者会議で連携している	職員全体に周知していきたい。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		2	・相談支援を介して情報を共有している	職員全体に周知していきたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		2	・相談支援を介して情報を共有している	職員全体に周知していきたい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7		1		職員全体に周知していきたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	3	1	・イベントで機会を作っている	感染の状況を見て、コンサートなどのイベントを開催していきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	4	1	・協議会に今後参加していく	自立支援協議会の情報を確認し、積極的に参加したい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	1			来所時に保護者と積極的にコミュニケーションを取りながら、通信やブログ、LINEなども活用して共通理解を深めたい。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	4		・保護者同伴なので、個別に対応し支援につなげる	来所時に保護者の方と個別に関わり、支援に繋がる対応を丁寧に行っていきたい。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8				
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8				

